

'10.7.19

人 法 団 財 団
社 本 資 本
公 益 信 頼

第1期は2社を選定

300万円上限、無利子・無担保

社会的事業会社に融資

再資源化をはじめとする総合環境ソリューションの事業会社を持つアマタホールディングスの熊野英介会長兼社長が理事長を務める公益社団法人信頼資本財団（東京・千代田、☎03・6268・9

708）は、社会的事業を対象とした無利子・無担保の融資事業を開始し、第1期融資対象者としてソノリテ（東京・中央、江崎礼子社長）とオモレイ（京都市、大亀靖治社長）の2社が選定された。

同財団は2009年1月に設立された。現代的社会的課題の解決に取り組む社会的事業に対して、300万円を上限額として無利子・無担保で融資を行う。事業を通じて「知恵」と「信頼関係」を

提供してもらおう。

今回融資が決まったソノリテはソフトウェア事業を手掛けており、公益事業を行う組織に「オンライン募金」という絆を提供する。募金をする寄付行為者の動機性と寄付を受ける事業者の意図を理解して、双方の要求をWebという仕組みを使って最適解を提供することに挑戦したことが評価された。同社にはオンライン募金の存在が広ま

ることを期待している。

オモレイは出版・広告・教育事業を行っており、未来を担う高校生にマスメディアやネットメディアとは違う「フリーペーパー」で、「人は一人では、つまらない」という社会認知を得る喜び、気付きの場を提供する。クロスド化した日本の教育現場をオープン化することに挑戦する社会企業家として期待している。